

， 議席10番， 田山文雄君。

〔10番 田山文雄君登壇〕

○10番（田山文雄君） 皆さん， おはようございます。議席番号10番， 田山文雄でございます。また， きょうは傍聴に来ていただきまして， 本当にありがとうございます。議長より発言の許可をいただきましたので， 通告に従って， 1項目2点についての一般質問をさせていただきます。

まず初めに， 昨日の町長の町政報告にもありましたが， 先週の18日に行われました当町とフィリピンのマリキナ市との姉妹都市協定の締結が大成功に終わりましたことに心からお喜び申し上げますとともに， マリキナ市長のご配慮で， 移動中に何台もの白バイやたくさんの警察官が先導や警備についていただき， 大渋滞の道路事情にもかかわらず， スムーズな移動ができました。また， 式典の前日には， マリキナ市議会において境町との姉妹都市締結の議決もしていただき， 大変な歓迎ムードの中で歴史的な調印式に参加をできたと思っています。今後， 境町とマリキナ市がさまざまな分野で相互に発展できますことを心から期待するものであります。

それでは， 通告の質問をさせていただきます。執行部の誠意ある答弁をよろしく願いいたします。1項目めの圏央道4車線化の早期推進についてお伺いをいたします。このことは3月定例会の予算委員会の中でも質問いたしましたが， 圏央道が2月26日の県内全線開通に伴い， 交通量が大幅にふえております。時間帯や時期によっては， 渋滞の発生が見受けられるようになりました。4車線化を行う目安として， 1日平均の交通量が2万台を超えれば検討していくとの説明を， まだ境にインターができる前に国やNE X C O東日本から伺ったこともあったと記憶をしています。

昨日の町長の町政報告にも圏央道について触れており， 答えも出ておりますが， 1点目の圏央道4車線化に向けての町としての取り組みについて， 2点目の圏央道の交通量の増加に伴い， 沿線の騒音についての対策についてお伺いをいたします。

以上， 1項目2点についての1回目の質問を終わります。

○副議長（渡邊 昇君） 圏央道4車線化の早期推進についての質問に対する答弁を求めます。

建設農政部長。

〔建設農政部長 小藺江 実君登壇〕

○建設農政部長（小藺江 実君） 皆さん， 改めましておはようございます。それでは， 田山議員の1項目め， 圏央道4車線化の早期推進についての1点目， 圏央道4車線化に向けて町としての取り組みについてとのご質問にお答えいたします。

去る2月26日に圏央道の県内区間が全線開通したことにより， 久喜白岡ジャンクションから境古河IC間の4月の1日平均交通量は約2万4,300台と， 開通前と比較いたしまして約2.1倍となっており， 休日を中心に渋滞が生じております。また， 今回の開通が暫定2車線での供用であるため， 交通事故により通行どめとなることや， 最高速度が70キロに制限さ

れた上、等速車両がいると速度低下が発生するといった走行性の課題もございます。町といたしましては、利用者はもとより、沿線の立地企業のためにも早期の4車線化が必要と考えており、県や県西地区圏央道建設促進期成同盟会と連携し、国やNEXCOに要望してまいりたいと考えております。

続きまして、2点目、圏央道の交通量の増加に伴い、沿線の騒音についての対策についてとのご質問にお答えいたします。県内区間の全線開通に伴い、交通量が大幅に増加したことから、行政懇談会でも走行時の車両の音が気になるといった意見が出されております。防音壁の設置基準につきまして国へ問い合わせたところ、昼間65デシベル以上、夜間60デシベル以上の騒音にかかわる環境基準を超える場合、防音壁を設置するとのことであります。町といたしましては、今後、境古河IC周辺の開発の進展や近隣市町の開発が進むと、大型車を初めとした自動車交通の増大が見込まれますことから、4車線化の際に防音壁の設置など騒音対策が実施されるよう、国やNEXCOに要望してまいりたいと考えております。

○副議長（渡邊 昇君） ただいまの答弁に対し、質問はございませんか。

田山文雄君。

○10番（田山文雄君） この4車線化は、やはり境町だけが要望してもどうということではできないというのはわかっているのです。やはり、この沿線が、皆さんが協力して、一緒になって、国にまた要望して、やっていかななくてはいけないというのももちろんわかっています。

ただ、本当に、この前もフィリピンに行くのに成田まで行きましたけれども、帰りはちょっと送ってもらって、よく通りますと、割と民家が少ないなという感じをひとつ受けたのですね、間がですね。境町は、やはり、この沿線沿いの人方、皆さん、やっぱり言っていますけれども、こんなに車が通ると思わなかったと、まずやっぱり言うのです。そのほかに、やっぱり、夜間、音がうるさいと、夜間といいますか、昼間もそうなのでしょうけれども、夜はやはり皆さん、ご自宅にいますので、やはり音がすごくうるさい、気になる、または救急車もサイレンを鳴らしてあそこを通っていくとか、よく、やっぱり言われます。あと、気になるのがやっぱり、休日なのでしょうけれども、オートバイがすごく通るときがあるらしいのです。多いときは何だか、200台ぐらい通ったとか、50台ぐらい、ずっと連なって通ったと。あそこにいる人の話ですけども、何か、すごい、大地震でも起きたのではないかなぐらいな、そういう騒音がしたというふうに言っていました。

本当に、やっぱり、ふだん、今までそこになかったものが、やはり急にそこに通って、僕らが昼間あそこにも、やはりトラックが通るときはかなり騒音がするなというのは実感としてやっぱりあるわけです。これは町のほうでも聞いていらっしゃるという話もありましたし、先ほど防音壁をつくるにはちゃんと基準があるというのももちろんわかるのですが、間にやはり民家の、民家がやはり多いのは、何か境町はすごく多い感じもしますし、この辺は、特に防音壁については、境町独自ででも僕は要望してもいいのではないかなと思っているのですね、国のほうに。さっき言った、夜間にオートバイが通ってすごい音がする

とか、そういったことも、それは本当に瞬間的に来ますから、常にその音がしているわけではないのだと思うのですが、そういったことも国にやっぱり要望して、4車線化の際にはぜひ防音壁を境町に設置をしていただきたいということを、境町独自で、これは僕は要望してもいいのではないかなというふうに思っています。

それで、4車線化を境町だけが要望するというのは、ちょっと周りからひんしゅくを買ってしまうのだろうなと僕は思っていますので、その辺、そういったことの考えとして、町としてどうかということが1つと、あと、やはり、きのう町長の答弁にもありましたけれども、県西地区の期成同盟とか、こういう中に、町長からすごく、町長のほうからまたどんどん言ってもらって、早期にやりましょうという話をさせていただきたいと思うのですが、具体的な案がまずあるのかどうか、ちょっと、では伺いたいと思うのですが。いづろ町長のほうで要望しますとか、そういうのが、これは期成同盟のほうであるかどうかは、これはないという顔をしていますから、わからないですね。

いろんところで今4車線化という話も出ていますので、では、具体的な動きとしてそういったことがあるかどうか、まずお聞きしたいのと、やはり境町独自でもって防音壁の要望というものができるのかどうかということについて、ちょっと答弁を求めたいと思います。

○副議長（渡邊 昇君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

境町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、田山議員さんのご質問にお答えをさせていただきます。

今、御党、公明党の石井大臣が国土交通大臣ですので、田山議員が質問するということは、やってくれるのかなというふうに思っていますので、ぜひやっていただけるのであれば、要望でも何でも町としては出させていただきますので、ぜひやっていただく方向で、田山議員にも石井大臣に伝えていただければありがたいというのが町の方向性でありますので、幾らでも、やっていただけるというのであれば、町としてはもう、霞が関は近いですから、すぐ行きますので、ぜひよろしくお願ひしたいなというふうに思っております。

○副議長（渡邊 昇君） ただいまの答弁に対し、質問はございませんか。

田山文雄君。

○10番（田山文雄君） この議会も、この議会が最後で、また今度改選になりますので、ちょっとあれだと思うのですが。石井大臣、やっぱり、境町には本当に何回も足を運んでいただいて、今度庁舎脇にできます防災ステーション、それについても、川沿いの中では初めて、町長がよく言っていますけれども、全国初で今回は国から補助が出たという話もありますし。本当に、実は、一昨年、被災を受けてから、石井大臣のところへ3回、実は要望へ行っているのです。個人的に、ちょっと町長から託されたものを要望した経緯もありますが、計3回、大臣のほうに要望いたしました。結果としては、その辺が速やかに実行されているのだなというふうには思っております。

今町長から、要望してくれば、要望できますよという話もありましたけれども、ぜひ、やはり住民の声として、やっぱり騒音を何とかしてほしいという声は現実にあるわけです。

から、こういったことを、町のほうでもぜひ要望したいということであれば、自分としてもぜひ協力させてもらって、大臣のほうにその辺のことも要望していけるような、またお願いもしたいと思っております。これは本当に、改選されて、今度、新しい議会になったときにそれができるのかなと思っておりますが、そういうことであればぜひ協力させてもらいたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○副議長（渡邊 昇君） 境町長，橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、田山議員さんの、先ほど期成同盟会が抜けておりましたので。

騒音については、やはり、僕らも行政懇談会をやった中で、本当にいろんな意見を聞いていますので、ぜひ、言わないことには何も起きないというのが現状で。よく僕が例に挙げるのは、トンネルというか、ボックスカルバートの照明、猿島地区はついていたのです。長田地区はついていたなかったのです。これはやっぱり、猿島地区には言った人がいたわけです。土地を売るときに、つけなかったら売らないぞと言ったわけです。だから、もう電気がついていたわけです。でも、長田地区はなかなかつかないです。僕も何回か要望させていただいて、最後はつきましたけれども。やっぱり、言うということは重要なことなので、ぜひ、町としてはつけてきてただけのものをつけていただきたいというふうには思っておりますので、ぜひ田山議員からもお願いをしていただきたいと思います。早急に要望書のほうは、地元の取りまとめとか、そういったことは議員の皆さんとともにやらせていただければなというふうに思っていますので、よろしく願いします。

期成同盟会につきましてでありますけれども、最近、最初は石井大臣に僕が直接言ったときに、まだ4車線化は早いよと、とにかく全線開通してからだよと、茨城は全線開通したけれども、ほかはまだではないかとか、それから東関東自動車道があるのだから話をされていたのが、最近は何回か中でも、やはり早期の4車線化が必要だというふうに変ってきているので、多分、知事のほうの挨拶の中にも、早期の4車線化は必要だというのが、文言が今入ってきていますので、まだ期成同盟会の日程が決まっていないのだそうです。圏央道期成同盟会、県西地区の、今坂東市が会長になっているそうでありますけれども、多分その中で決議はされるのではないかなと思いますけれども、もし入っていないときはうちの町のほうから、多分入ると思うのですけれども、入っていない場合にはぜひ入れて、どんどん要望へ行きましょうというような話はさせていただきたいなというふうには思っているところであります。茨城県区間だけでなく、やはり全体区間を通して、そういった要望を上げる際には必ずそういう、防音壁の設置だとかインターチェンジ周辺道路の、やはりおりてからの安全面、そして4車線化と、この3つをセットでやはり要望していくべきではないかなというふうに思っておりますので、ぜひ、町としては要望していきますので、要望が出る前にも田山議員からは大臣のほうにも言うておいていただければありがたいなというふうに思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

○副議長（渡邊 昇君） ただいまの答弁に対し、質問はございませんか。

田山文雄君。

○10番（田山文雄君） これも質問ではないのですが、ぜひ、本当に住民の皆さんが安心して、圏央道ができたことによって皆さんが喜んでもらえるように、これからも私としても協力してまいりたいと思っておりますので、どうかまたよろしくお願ひしたいと思ひます。

では、以上で質問を終わります。

○副議長（渡邊 昇君） これで田山文雄君の一般質問を終わります。